

2011年度第3四半期 決算説明

Rinnai

2012年2月7日

売上高: 1,847.7億円 (前期比 3.5%増)

節電意識の高まりで国内が牽引し増収、海外は為替影響で減収

営業利益: 206.9億円 (前期比 5.9%増)

日本、オーストラリア、ブラジルが好調で増益

経常利益: 222.9億円 (前期比 8.2%増)

営業利益の改善により増益

四半期純利益: 122.0億円 (前期比 3.2%減)

投資有価証券評価損を特別損失として計上し減益

- ・営業利益率11.2%は第3四半期として過去最高
- ・中期経営計画「改革と躍進」完遂に向け順調な進捗

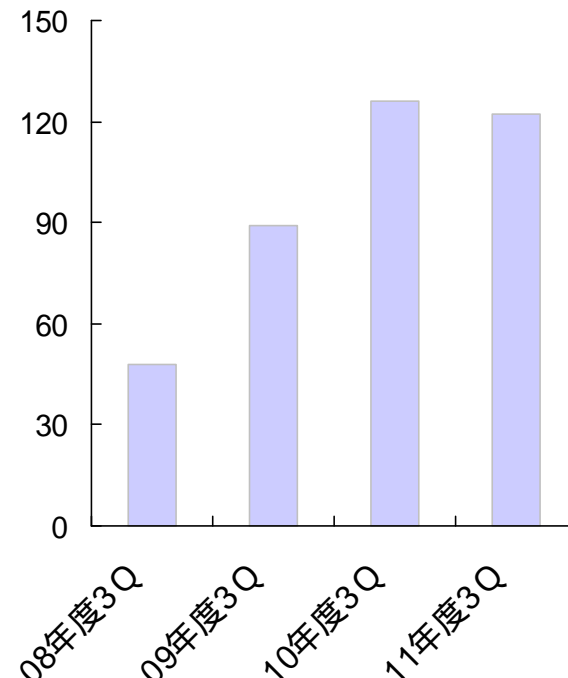
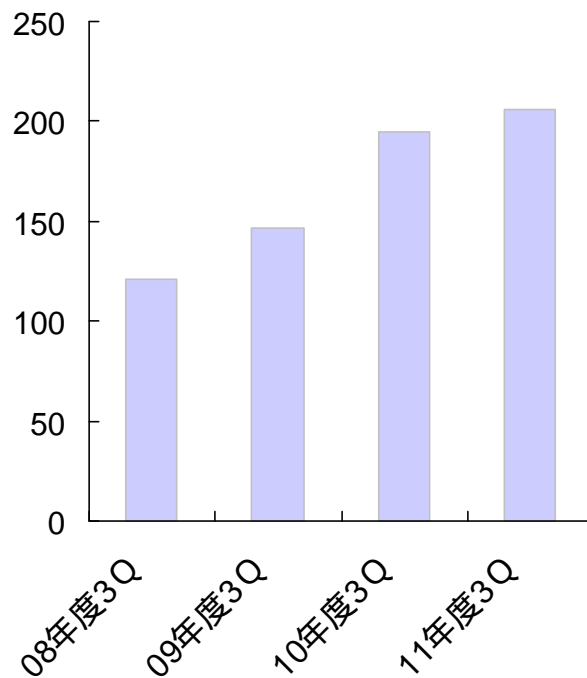
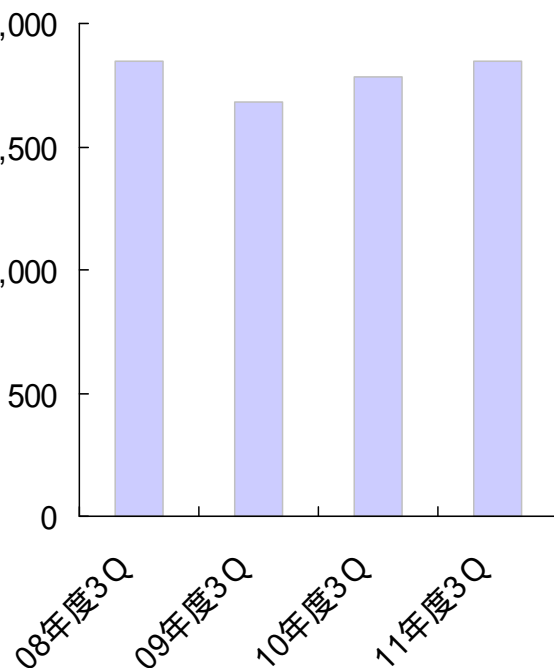
連結業績推移(第3四半期)

売上高

営業利益

四半期純利益

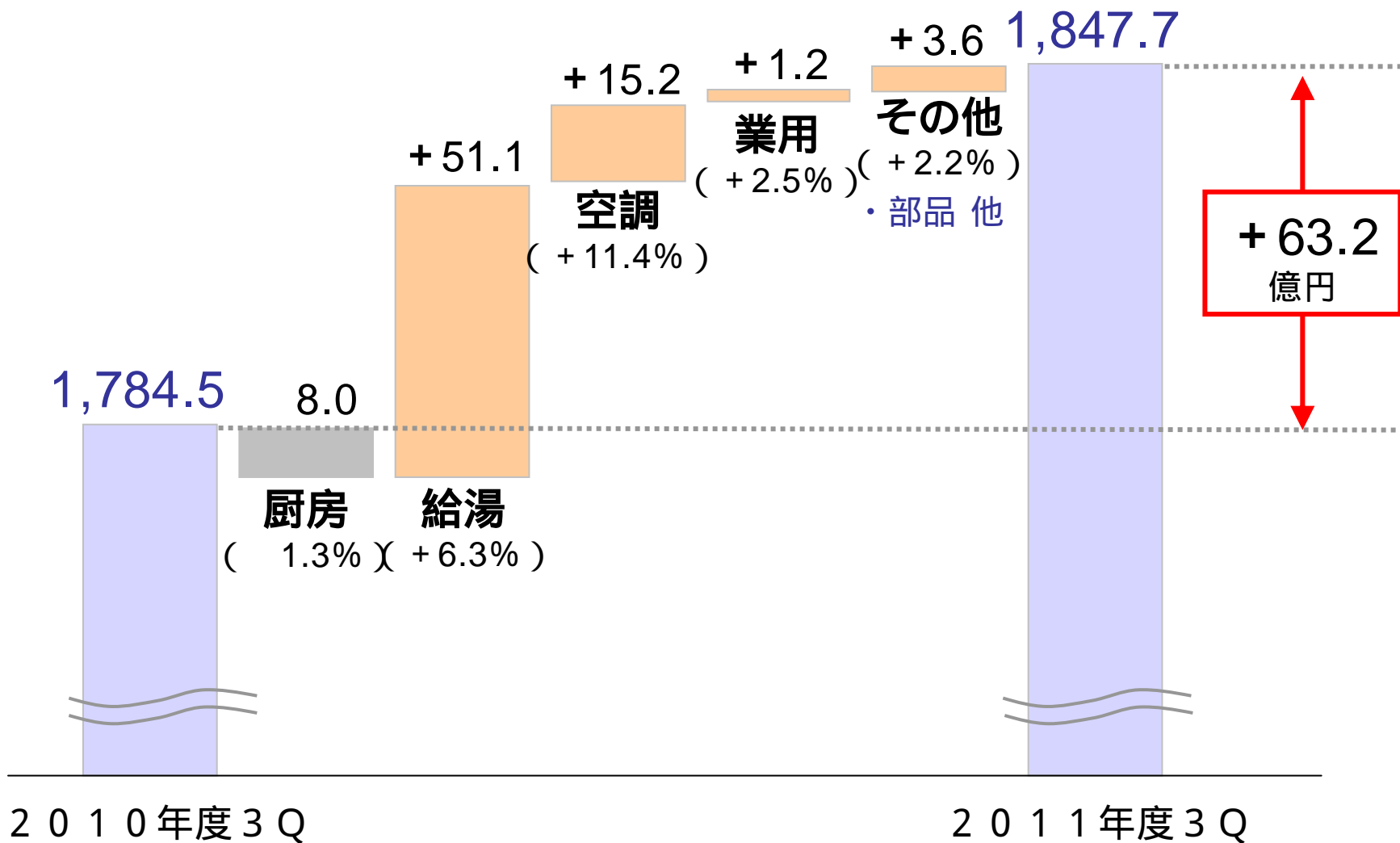
(億円)



- ・売上は2期連続の増収となり、営業利益は3期連続で増益
- ・売上、営業利益は過去最高を計上

2011年度第3四半期 連結売上分析(商品別) **Rinnai**

[単位 : 億円]



2011年度第3四半期 連結損益実績内訳

[単位：億円]

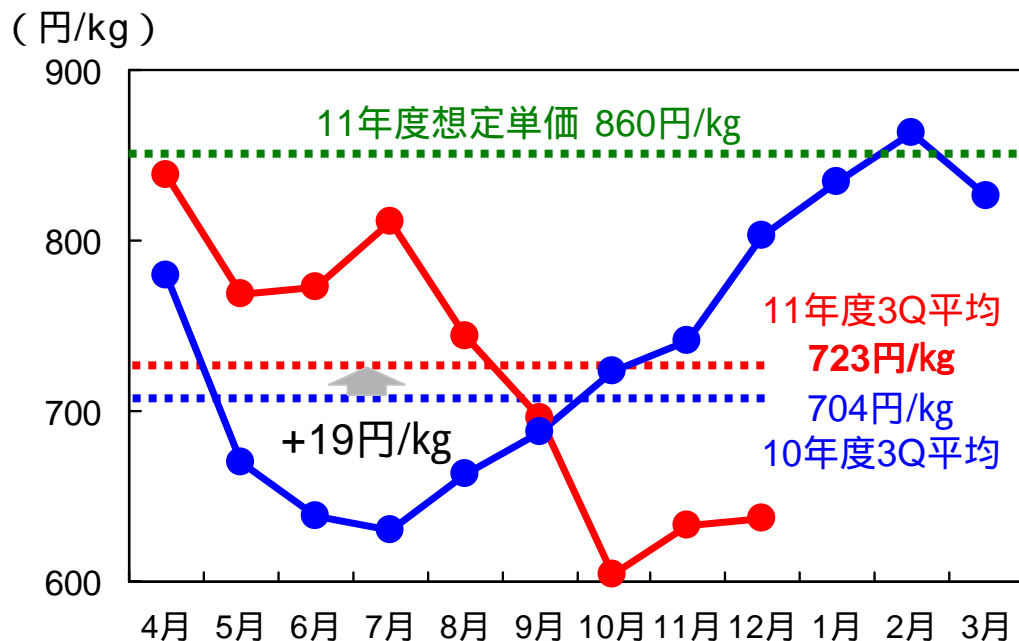
| | 売上高 | 前期比 増減率 | 営業利益 | 前期比 増減率 | 営業利益率 | 前期比 増減率 |
|------------|-------|------------|------|------------|-------|------------|
| 連 結 | 1,847 | + 3.5% | 206 | + 5.9% | 11.2% | + 0.2P |



| | 売上高 | 前期比 増減率 | 営業利益 | 前期比 増減率 | 営業利益率 | 前期比 増減率 |
|-------------|-------|------------|------|------------|-------|------------|
| リンナイ | 1,371 | + 5.3% | 140 | + 10.6% | 10.2% | + 0.5P |
| 国内関連 | 725 | + 6.5% | 15 | 7.1% | 2.1% | 0.3P |
| 海外関連 | 571 | 4.4% | 50 | 6.8% | 8.8% | 0.2P |
| 合 計 | 2,667 | + 3.3% | 205 | + 4.4% | 7.7% | + 0.1P |

電気銅の動向

- ・2011年度の平均想定単価は860円/kg
- ・想定単価を下回り推移。



11年度3Q平均

723円/kg

10年度3Q平均

704円/kg

前年比増減率

+ 2.7%

使用箇所

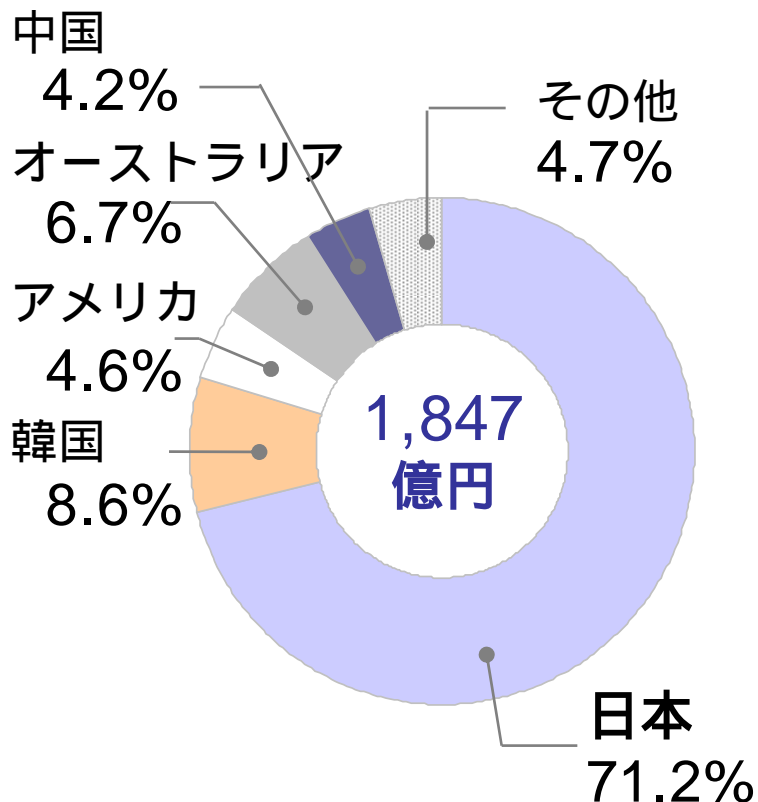
給湯器
(熱交換器等)

鉄鋼の動向

- ・鉄鋼材料は価格上昇 ⇒ 7月よりそれぞれ価格の値上げを反映
(平均単価が1割程度アップ)

連結売上高 セグメント(地域)別構成比

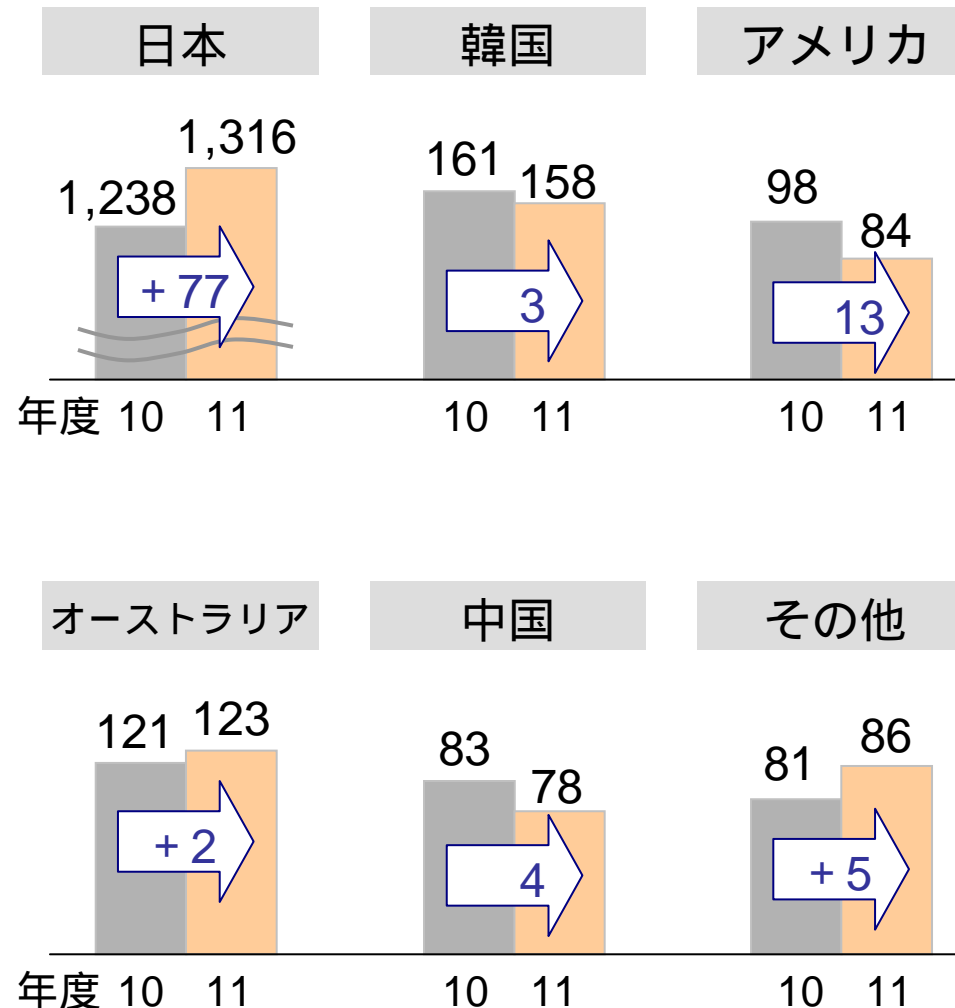
2011年度3Q 売上高



その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[億円]



商品別売上実績(厨房機器)

Rinnai

商品構成比：33.1%



| [単位：億円] | 10年度3Q | 11年度3Q | 前期比 増減率 |
|-----------|--------|--------|------------|
| 日本 | 534 | 532 | 0.4% |
| 韓国 | 51 | 45 | 10.6% |
| 中国 | 11 | 12 | + 4.5% |
| その他 | 22 | 21 | 4.4% |
| 合計 | 620 | 611 | 1.3% |



日本



韓国



中国

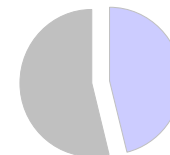
- ・国内はビルトイン伸長もテーブルが売上減
- ・韓国では市場競争激化でコンロ販売が減少

商品別売上実績(給湯機器)

[単位 : 億円]

| | 10年度3Q | 11年度3Q | 前期比 増減率 |
|---------|--------|--------|------------|
| 日本 | 504 | 555 | + 10.1% |
| 韓国 | 57 | 65 | + 13.7% |
| アメリカ | 90 | 76 | 15.2% |
| オーストラリア | 53 | 61 | + 14.1% |
| 中国 | 69 | 63 | 9.6% |
| その他 | 36 | 41 | + 14.3% |
| 合計 | 812 | 863 | + 6.3% |

商品構成比 : 46.7%



日本



アメリカ



オーストラリア

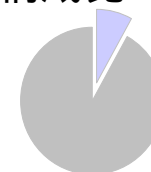
- ・国内はエコジョーズの販売比率増加で売上堅調
- ・アメリカは景気回復遅れの影響で台数を伸ばせず

商品別売上実績(空調機器)

[単位 : 億円]

| | 10年度3Q | 11年度3Q | 前期比 増減率 |
|---------|--------|--------|------------|
| 日本 | 71 | 89 | + 24.2% |
| 韓国 | 2 | 1 | 38.0% |
| アメリカ | 7 | 7 | 0.1% |
| オーストラリア | 46 | 45 | 1.1% |
| その他 | 5 | 4 | 14.5% |
| 合計 | 133 | 148 | + 11.4% |

商品構成比 : 8.0%



日本

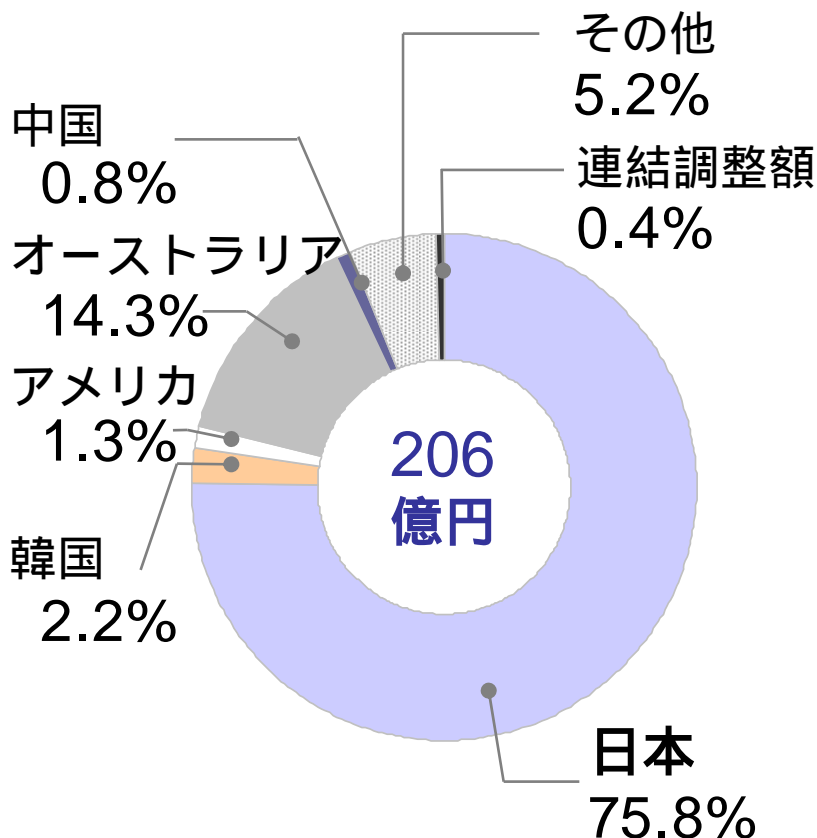


オーストラリア

- ・日本では節電意識の高まりでガス暖房へシフト
- ・オーストラリアは補助金制度の終了で売上が減少

連結営業利益 セグメント(地域)別構成比 Rinnai

2011年度3Q 営業利益

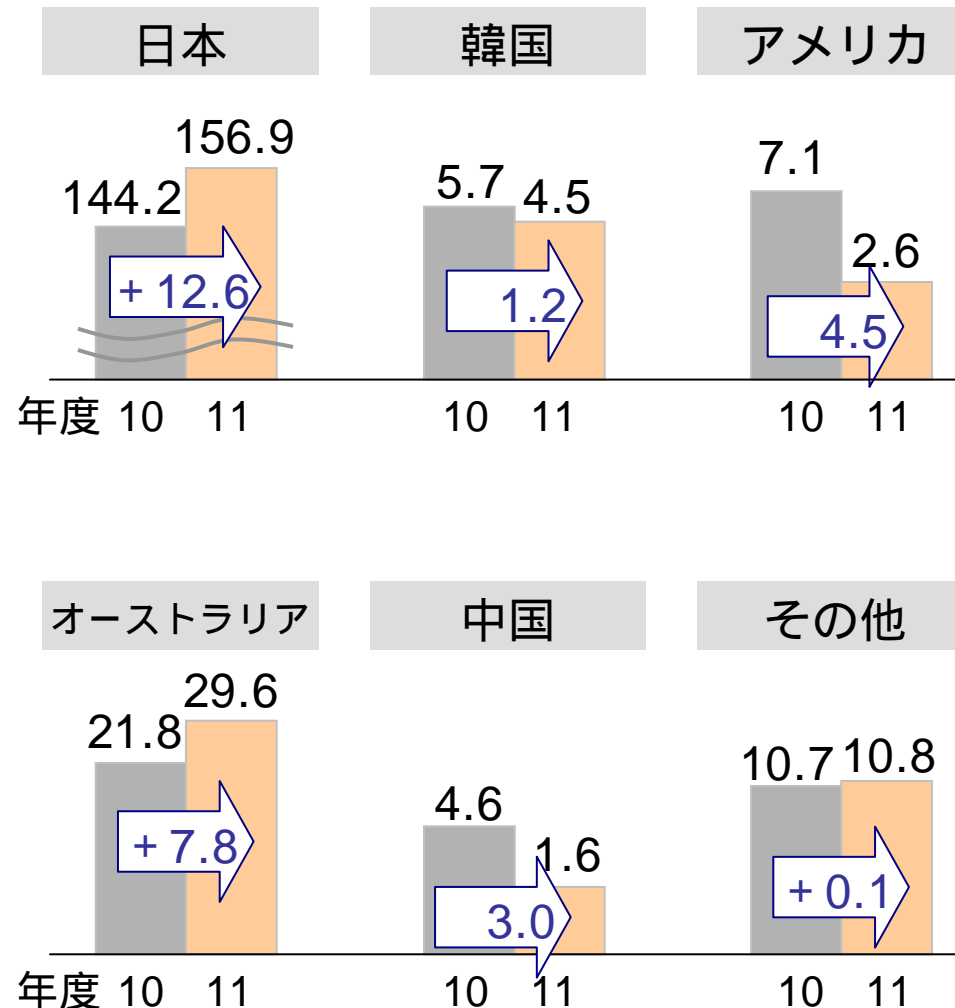


その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

連結調整額：セグメント間取引消去

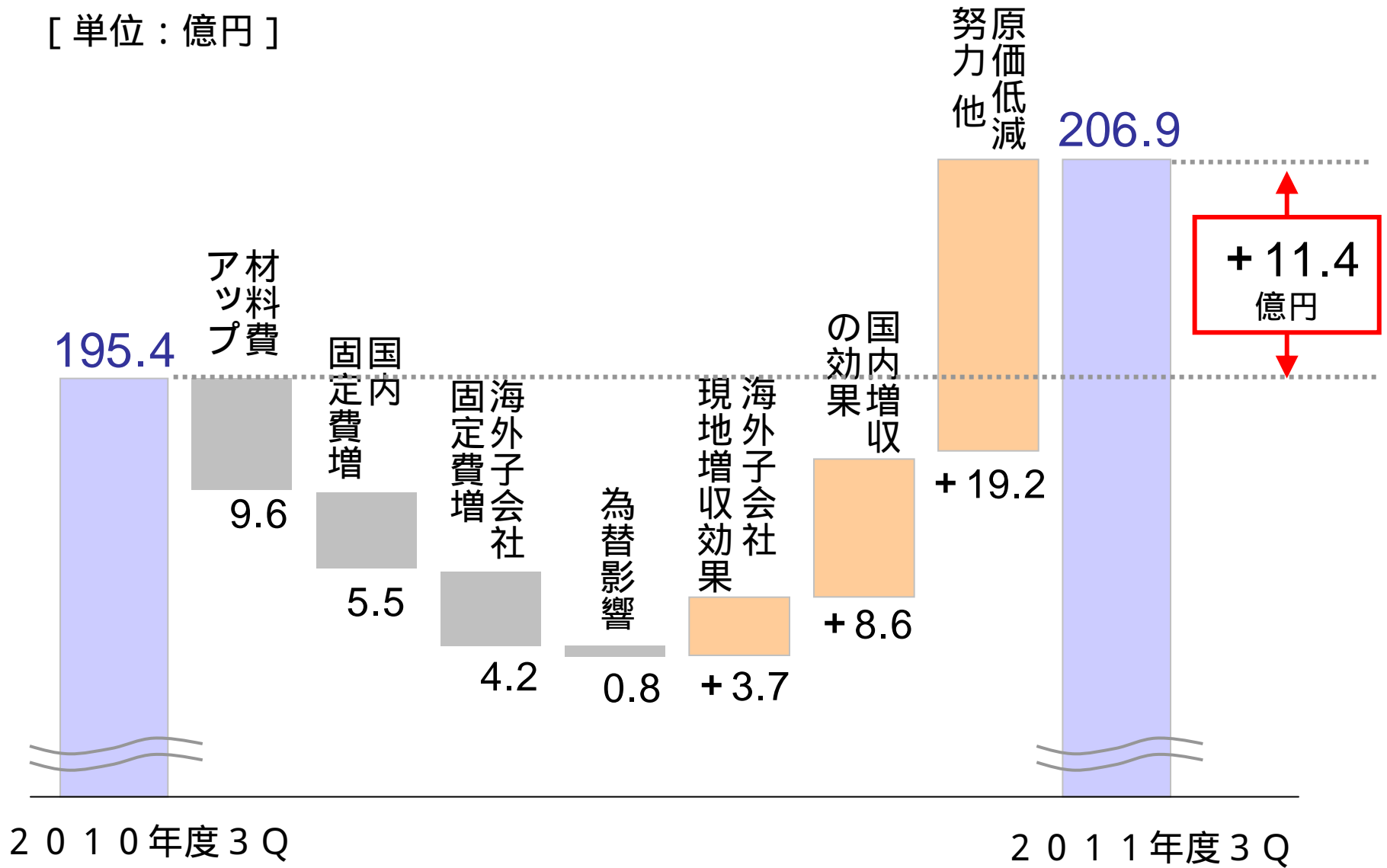
セグメント(地域)別前年比較

[億円]



2011年度第3四半期 連結営業利益分析

[単位：億円]



ビルトインコンロとレンジフードのセット販売強化



DELICIA

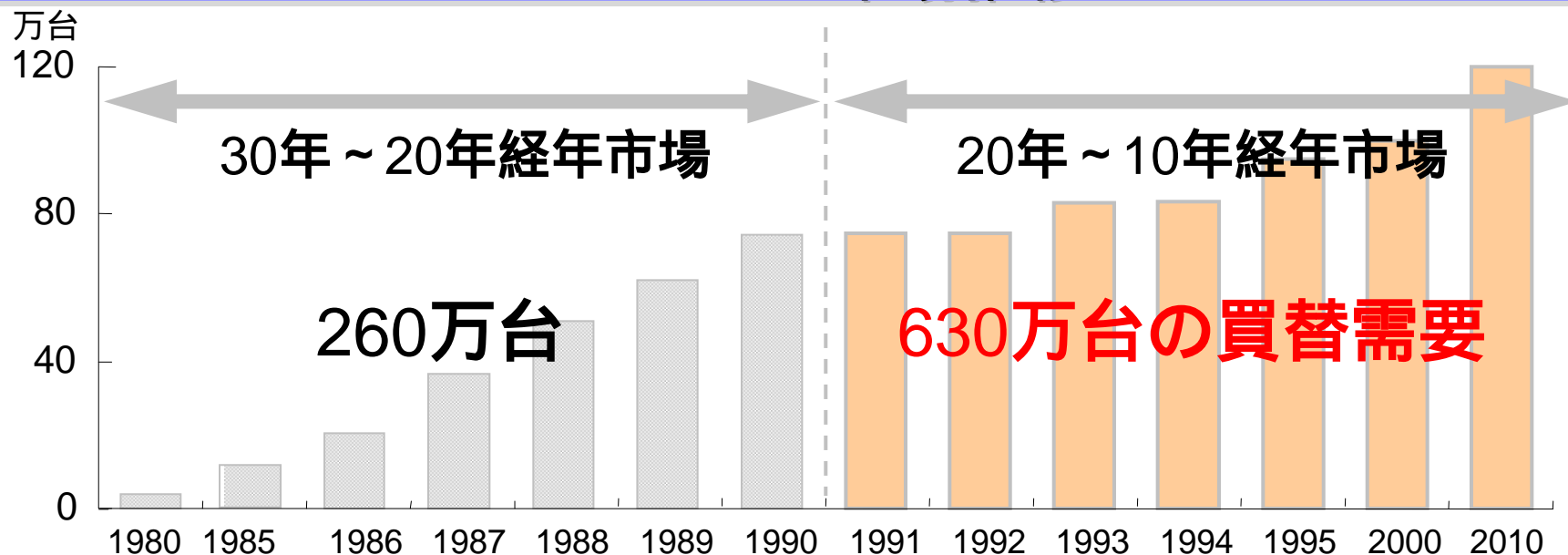


Verie



AirPRO
(ノンフィルタ・スリム型)

レンジフード市場推移



業界の自主基準

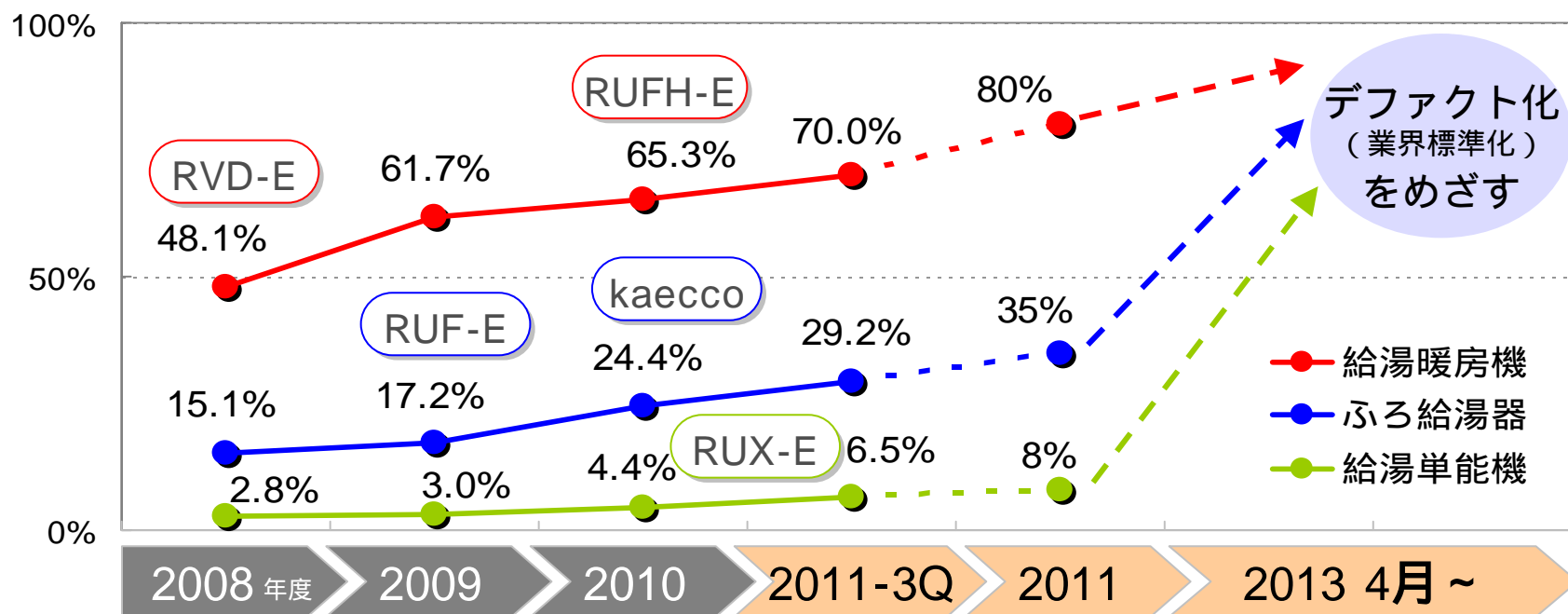


全ての給湯器を高効率タイプに

2013年3月末までにエコジョーズへの生産切り替え完了

リンナイの取り組みとエコジョーズ比率

Eシリーズの投入とラインアップ拡充でエコジョーズ比率向上



累計比率 20.3% 23.9%

熱効率125%を実現し、ふろ給湯器から集合住宅まで、
ライフスタイルに合ったラインアップに



省エネ性

給湯の省エネトップランナー
一次エネルギー効率 **125%**

環境性

CO₂排出量約 **50%**カット

経済性

石油給湯機や電気温水器と比べて

年間約 **2**万円の給湯コストダウン

設置性

タンクユニットはエコキュートと比べて

容積比 **40%**減、面積比 **25%**減

ハイブリッド給湯・暖房システム

ECO ONE

2012.4
新発売

太陽光発電との組合せに最適

| | |
|----------------|--|
| 経済 | <ul style="list-style-type: none">・新興国は人口増・内需拡大を背景に高成長が続く・EU危機など先進国は不安定。景気回復に遅れ・円高局面続く。各国間のFTA協議も活発化 |
| 環境保全 | <ul style="list-style-type: none">・進行する地球温暖化・温室効果ガスの排出増加・各国の環境政策が加速。国際的な規制枠組は難航・自然災害(地震・洪水他)、異常気象の世界的多発 |
| エネルギー事情 | <ul style="list-style-type: none">・エネルギー消費量の増加による電力不足が続く・発電方式の決定版がない(再生可能エネルギーはコスト高)・シェールガス、新油田等でエネルギー需要が変化・原発推進が鈍化。ガスの利用拡大と燃料転換が進行 |

各国間の貿易・エネルギー均衡や経済は変化の局面が続くが、生活必需品である熱機器を求める世帯数は長期安定的に増加する

熱機器ビジネスは世界的な長期成長産業

現・中期経営計画

改革と躍進

- ・ 業務プロセス革新で経営効率を大きく改善
- ・ 環境・省エネ・安全を軸に商品力を一段と強化
- ・ グループ経営の強化

成果

2009

2010

(90周年)

2011

発展

2012年5月決算発表時に公表

新・3カ年計画

- ・ 総合熱エネルギー機器メーカーとしての体制・ブランド確立
- ・ ハイブリッドや高効率商品で地球環境保全に貢献
- ・ 海外戦略の更なる強化


2012

2013

2014

リンナイ精神の継承

「熱と暮らし」「品質こそ我らが命」「現地社会への貢献」



これからもリンナイは「安全・安心」、
「快適性」、「環境性」に優れた機器を
提案し、世界の人々の生活文化の向上と
未来の地球のために貢献してまいりたい
と思います。

Rinnai

EXPERIENCE OUR INNOVATION

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。